

令和4年度 家庭と教育と福祉の連携推進のためのシンポジウム

連携マニュアルの作成・運用

**沖縄市における家庭と教育と福祉の連携推進のための
「ほんの一例」**

**沖縄市教育委員会指導課 八幡 昌士
沖縄市障がい者基幹相談支援センター 島 和也**

<本日の内容>

沖縄市の取り組みについて

- ①「取り組みの背景と現在の取り組み」** by 島
- ②「教育現場の現状から生まれた
あらたな仕組みづくりへのチャレンジ」** by 八幡

沖縄市ってどんなところ？

沖縄県で那覇市に次いで2番目に人口が多く、2015年の国勢調査では人口増加率は全国の市で4位、三大都市圏の市を除けば最も高い！

<ウエキペディア参照>

➡元気で勢いがある！ポテンシャルも高い！！(※あくまで個人的感想です)

- ・人口：142,678人 ※18歳未満：約28,763人
- ・世帯数：65,945世帯 <令和5年2月1日現在>
- ・小学校16校、中学校8校
※特別支援クラスは157クラス(小117、中40) <※R3年4月>

沖縄市の持つ地域の強みや課題などを背景に
トライアングルプロジェクトは進められています



障がい福祉分野以外の関係機関でも!

トライアングルプロジェクトを推し進めていく
市内の関係機関には…

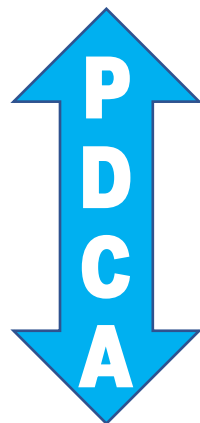
・沖縄市こども発達支援センター

・沖縄県発達障害者支援センター「がじゅま〜る」

・県教育庁中頭教育事務所

…など、その他多くの関係者や関係機関が三角形の各辺で、
それぞれの取り組みを通してプロジェクトを推進しています。

Q-SACCSの
作成も一緒に
やってみました



今後
・連携支援Co
・連携推進Mgr
等の機能が加わるこ
とでより効果的なシ
ステムとして機能す
るのでは

今後は、それぞれの取り組みをどうつなげていけるのかがカギ!

<取り組みの背景:障がい分野の関わり方を俯瞰してみたら>

沖縄市で福祉と教育の連携を阻害する大きな要因一つが

**お互いが、
お互いを良く知らない。**

それぞれの文化（実践してきた歴史・背景・役割・・・など）や
現状をよくわかっていなかった(;'▽')

実は異文化交流だった!

異文化交流で起こりがちな状況は沖縄市でも

家庭

三角形の頂点を支える
はずがコミュニケーション
(連携)に課題が

先生がもつと…
学校がもつと…

要求

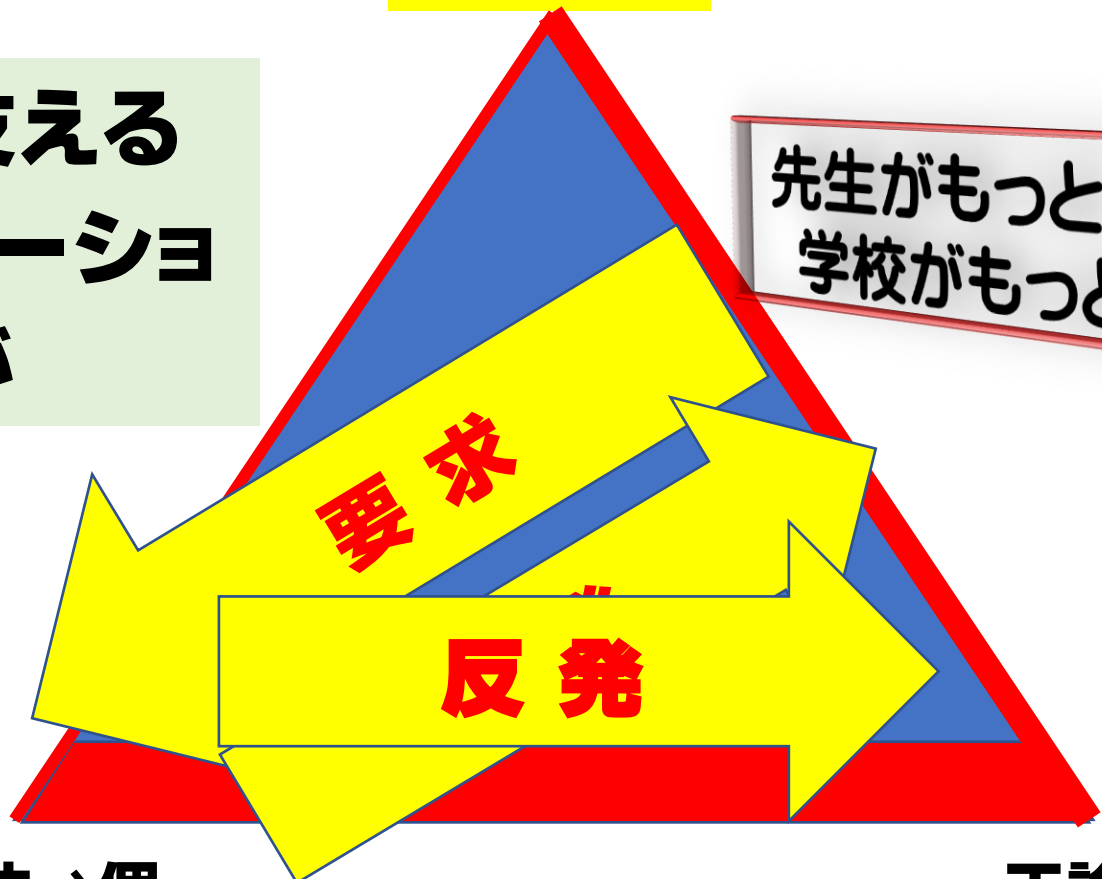
反発

学校

福祉

正論(権利)全体⇒個

正論(権利)個⇒全体



異文化（価値観や言語の違い）交流には外交努力が重要
「顔を突き合わせ、言葉を交わす」

学 校

福 祉

教育
委員会

トライアング
ルプロジェクト

障がい
福祉課
基幹相談



課題解決に向けて
一緒に汗かき、知恵出す関係に

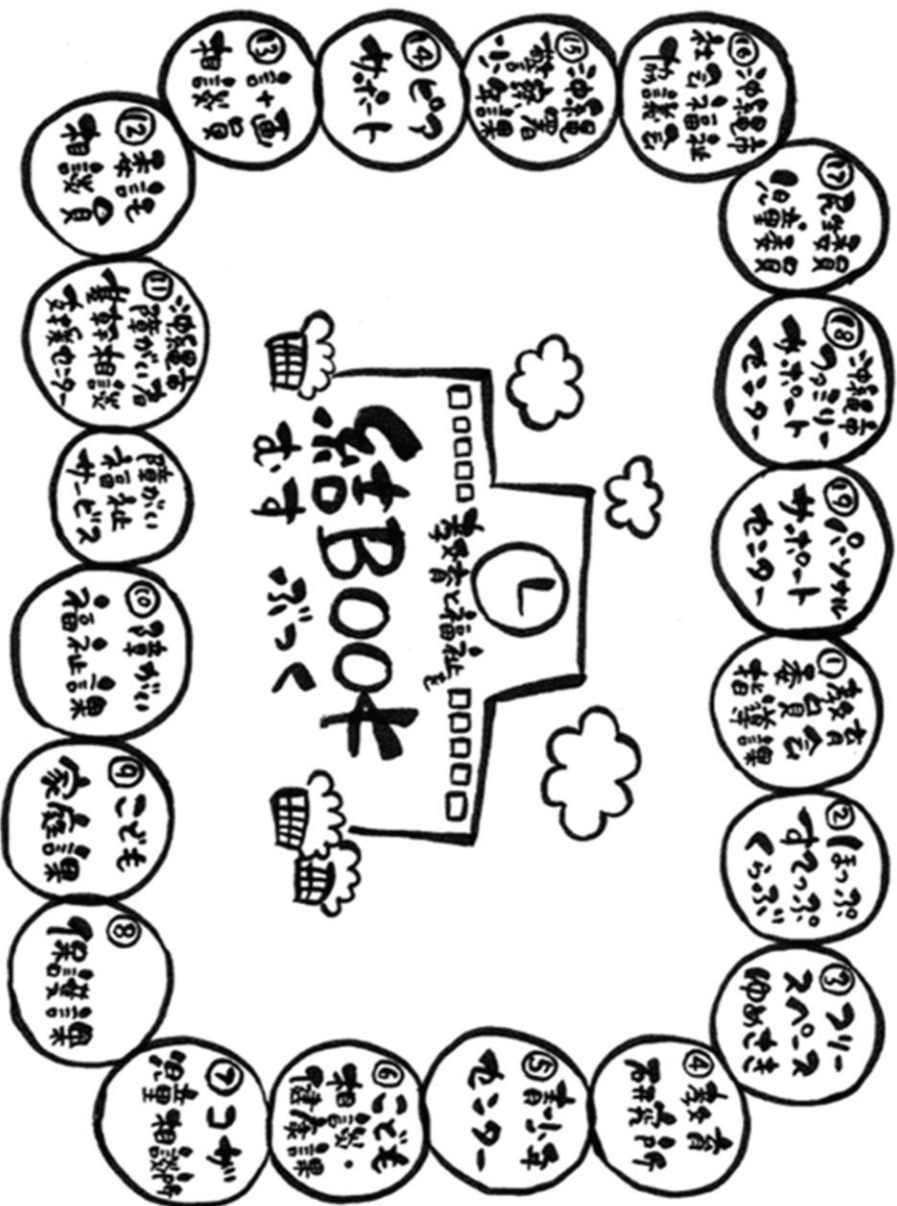
一緒に汗かき、知恵を出し合った具体的な取り組み例

- ～平成28年度：特別支援教育連絡協議会にて情報交換会を実施
- 平成29年度：地域の社会資源（放デイ、子どもの居場所など）見学ツアーを実施
- 平成30年11月：「教育と福祉を結（むす）BOOK（ぶっく）」の作成
- 平成31年度（令和元年）：沖縄市トライアングルプロジェクトの推進に向けての協議を開始
 - ・特別支援教育連絡協議会にてトライアングルプロジェクトの実施・推進を説明
 - ・教育委員会指導課、障がい福祉課、基幹相談にて推進内容の協議・検討、推進案の作成
- 令和2年度プロジェクトスタート
 - ・市立幼・小・中学校へ市プロジェクト推進内容についての説明と推進に向けた協力依頼
 - ・第5次沖縄市障がい者プランに「沖縄市トライアングルプロジェクトの推進」の掲載
- 令和4年1月：令和3年度 沖縄市トライアングルプロジェクト会議開催
- 令和4年5月：令和4年度 沖縄市トライアングルプロジェクト会議開催
- 令和4年6月～：教育委員会と児童系サービス事業所と学校サポートのモデルを検討協議
- 令和4年8月～：上記、モデル実施

発達障害ナビポータルにも掲載していただきました
沖縄市基幹HPでもDL可能です

新型コロナ感染
拡大による
空白の1年

現在マニュアル的な資料等は配布済み



間がかりります。長期休暇での利用や進級後の利用等を
考えている場合には早めの対応を

沖縄市「給BOOK」

対象者：未就学
集団療育、個別療育が必要な児童

児童発達
支援事業所

居宅介護
サービス

放課後等
デイサービス

対象者：就学児
(幼稚園と大学を除く)
放課後または休日に
支援が必要な児童

【沖縄市の障
害児支援】

地域の相談員
日々の相談、生活
相談にのって

委託相談
相談支援事業
おきなわ
TEL: 930-17
沖縄市高原7

- ・地域の障がい
- ・障がい福祉サ
- ・虐待の防止及
- ・権利擁護のた

生活に関わる
学習が気に

3、採

2、会議時

1、来校

【保護者 (ふりがな)	児童・生徒	緊急時の 連絡先	学校名	放課後等デイ サービス事業所	放課後等デイ サービス事業所	保育所等訪問 事業所名	計画相談員	委託相談員	その他支援者
◆「連携シ ことか望まし									
※ 放課後等デイ ※ 保育所等訪問 支援方法等の ※ 計画相談員 ※ 委託相談員									
「子ども達の ☆家庭・教育									
・学校の年間									
・送迎引継ぎ									
・事業所の利									
・個別支援計									
・お互いのア									
【特記事項】									

目的
より良い連携と
安全な引継ぎのため
子ども達の学びや
育ちを支えるつな
がりのために
※その含まれに必要

**今後、既存資料に
もう1パーツを追加してバージョンアップを!**

そのパーツとは？

家庭と教育と福祉の連携好事例集

取り組みの効果性やプロジェクトのイメージの共有を図る
上で好事例集は必要不可欠！事例集が出来上がり次第、
各パーツをまとめ1冊のマニュアルとして配布予定です

「令和2年		【保護者 記入欄】 (ふりがな)	
目的	より良い連携と継続のために	児童・生徒名	
		緊急時の連絡先	順 ① ②
① 初回	安全な引継ぎのために	連携機関	
		学校名	学年・クラス名
		放課後等デイサービス事業所名	
		放課後等デイサービス事業所名	
		保育所等訪問事業所名	
② 入校	※中学校に生徒の成長に合わせた場下さい。	計画相談員	
		委託相談員	
		その他支援者等	
③ 学校の	子どもを支援の学びながりのために	◆「連携シート」は原則年ごとが望ましい。	
		※ 放課後等デイサービスとは、 ※ 保育所等訪問とは、学校や施設 支援方法等の確認・共有を行う ※ 計画相談員とは、障害児支援 ※ 委託相談員とは、子どもや 「子ども達の学び・育ちを支	
④ トライア	子どもを支援の学びながりのために	☆家庭・教育・福祉の切れ目	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の年間予定表 ・送迎引継ぎ時に、健康面や ・事業所の利用計画表 ・個別支援計画や学習目標な ・お互いのアプローチを活か 	
⑤ 結B00	子どもを支援の学びながりのために	【特記事項】	
※その他の推奨が含まれています。必要に応じて取			

沖縄市「トラ

1、来校者



教育・家庭・福祉の連携マニュアル

～児童生徒の安心・安全と一貫した支援のためのトライアングル～



モデルにしてるのはこの形!!
兵庫県さん
参考にさせていただいています!

令和3年3月
兵庫県教育委員会

① 兵庫県 社会福祉協議会
② 兵庫県 児童委員
③ 兵庫県 子育て支援センター
④ 兵庫県 教育委員会
⑤ 兵庫県 教育研究所
⑥ 兵庫県 子育て支援センター
⑦ 兵庫県 子育て支援センター
⑧ 兵庫県 子育て支援センター
⑨ 兵庫県 子育て支援センター
⑩ 兵庫県 子育て支援センター
⑪ 兵庫県 子育て支援センター
⑫ 兵庫県 子育て支援センター
⑬ 兵庫県 子育て支援センター
⑭ 兵庫県 子育て支援センター
⑮ 兵庫県 子育て支援センター
⑯ 兵庫県 子育て支援センター
⑰ 兵庫県 子育て支援センター
⑱ 兵庫県 子育て支援センター
⑲ 兵庫県 子育て支援センター

「運用」のための取り組みとして

つながり



毎年、結BOOKのアップデートの際に差し替えと合わせてヒアリングの実施や、コロナの影響で実施できなかった各中学校区ごとの社会資源ツアーの実施などを通して顔の見える関係へ

支え

横断的に取り組む為の柱の一つとして 第5次沖縄市障がい者プランに盛り込む

② 沖縄市トライアングルプロジェクトの推進

取り組み内容	担当課
障がいのあることもや発達に課題を抱えたこともへの支援にあたっては分野・領域を超えた切れ目のない支援体制の構築が不可欠です。特に、家庭・教育・福祉の三者が密に連携することで、支援を必要とする子ども達がそれぞれの環境で、日々安心して過ごし、学ぶことを支援する仕組みづくりを進めます。	指導課 障がい福祉課 保育・幼稚園課 子ども相談・健康課

【基本目標Ⅱ 施策を評価するための指標及び見込値】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	担当課
沖縄市トライアングルプロジェクトの推進	会議等開催	1	1	1	指導課 障がい福祉課 保育・幼稚園課 子ども相談・健康課



3部4課での
推進会議の
様子

学び

実践と教育と福祉の連携「沖縄市トライアングルプロジェクト推進プラン」

推奨プランの内容周知

相談員、事業所向けの勉強会や、学校に出向いての出張勉強会の実施等



**「教育現場の現状から生まれた
あらたな仕組みづくりへのチャレンジ」**

インクルーシブ教育の
推進

通級指導教室の
設置

特別な支援が必要
な児童生徒の増加

本市における特別支援教育に係る課題

教師の専門性

マンパワー不足

多様化、複雑化

合理的配慮

などなど…

インクルーシブ教育
の

通級指導教室の
設置

特別な支援が必要
生徒の増加

量の
拡充

支

質の
向上

ワー

合理的配慮

などなど・



指導・助言

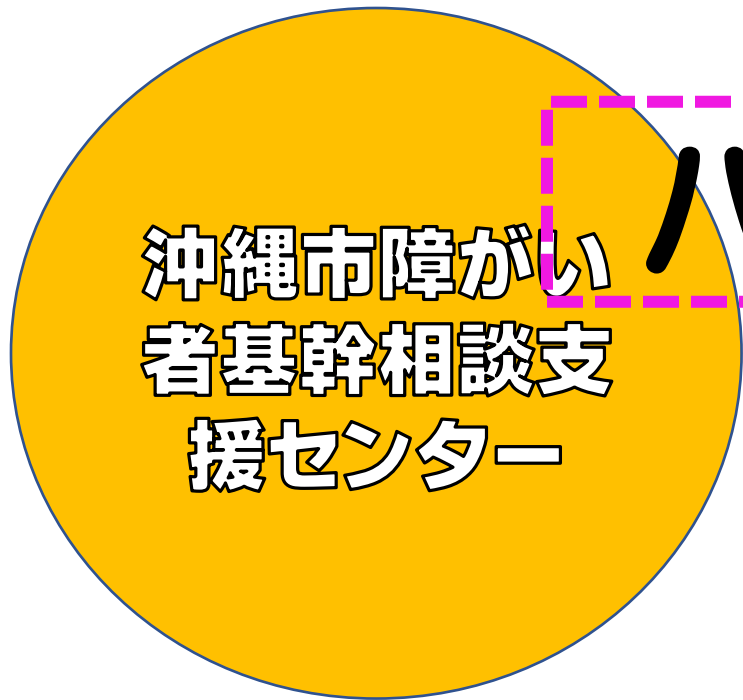


学校だけでは抱えきれない

教育委員会だけでも抱えきれない

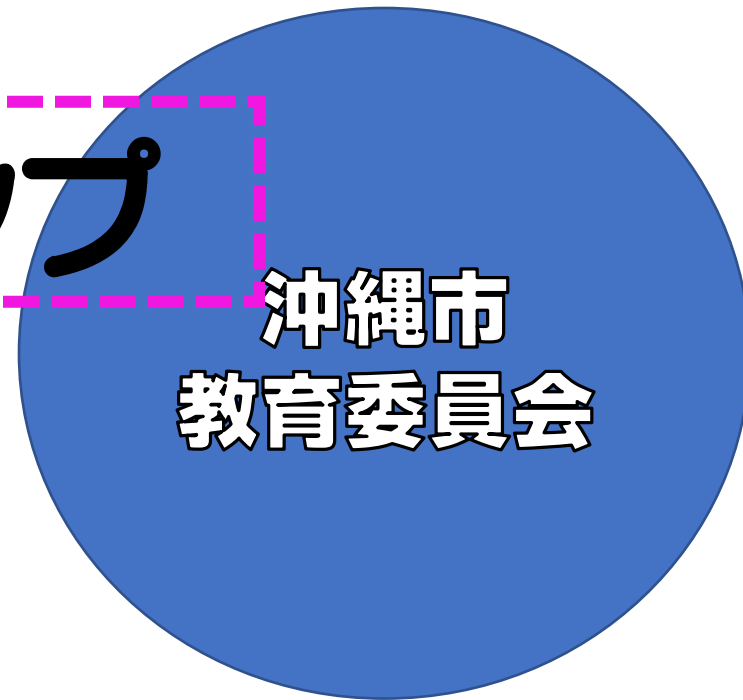
知識、経験、人脈・・・

外部関係機関との連携

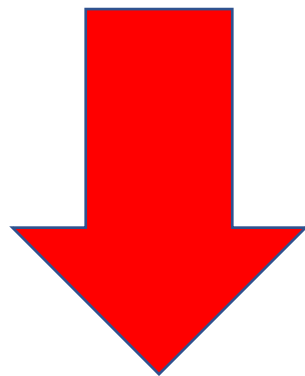


福祉

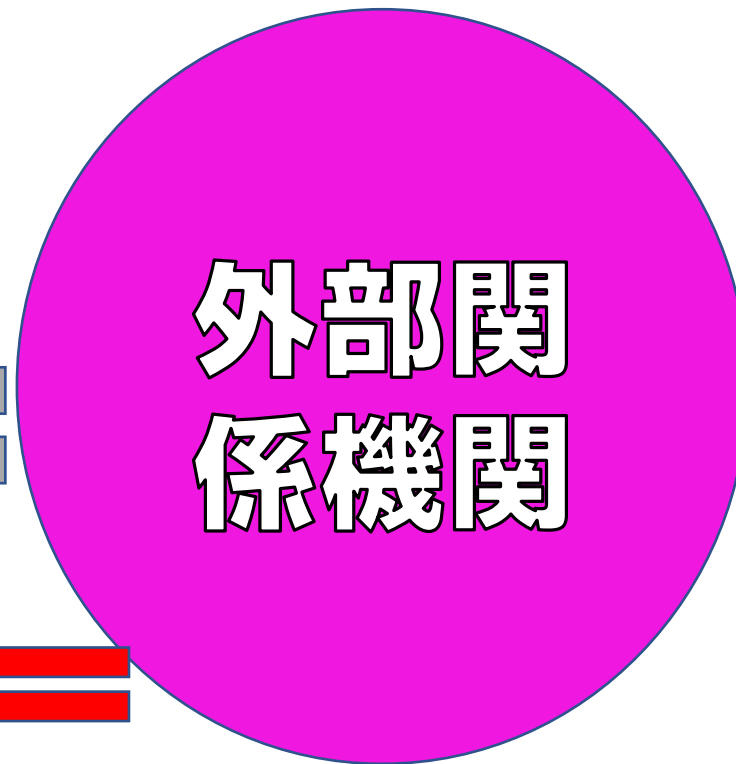
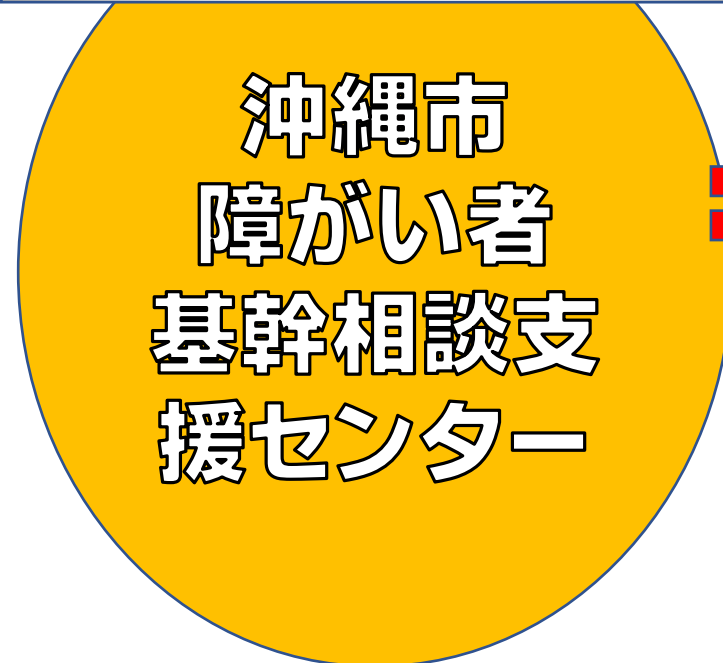
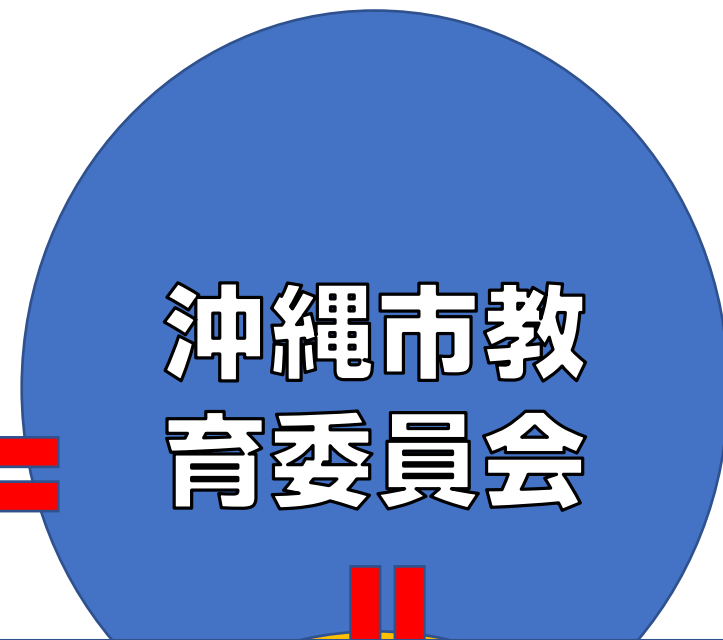
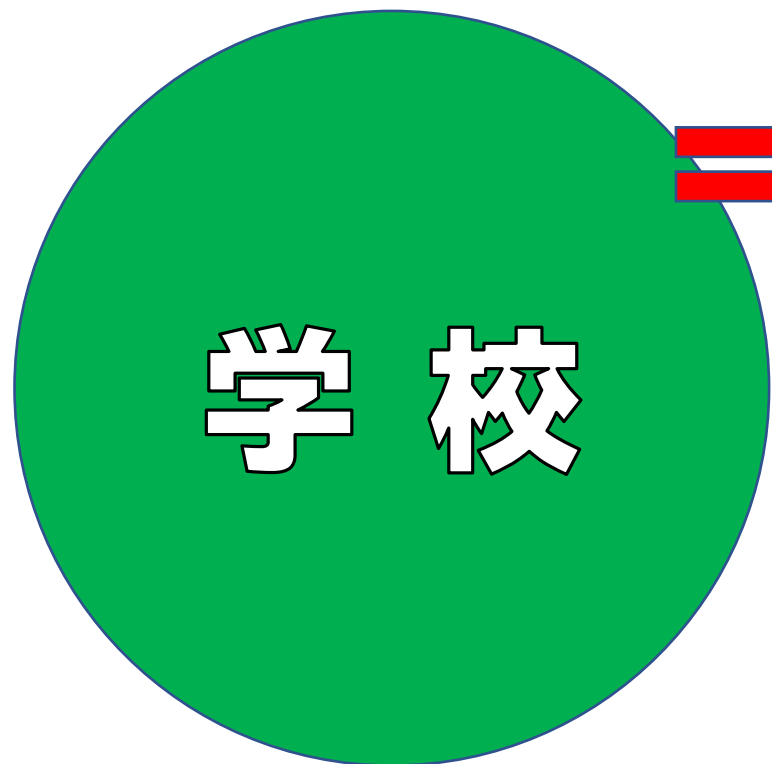
パートナーシップ



教育



療育(発達支援)の視点を学校現場に！



沖縄市の主な発達支援

外部機関との連携

特別支援学校
(幼稚部)

特別支援学校
(小学部)

特別支援学校
(中学部)

特別支援学校(高等部)、高等学校

医療機関、福祉施設(障害児相談支援事業所、児童発達支援事業所、保育所等訪問支援事業所、放課後等デイサービス事業所等)等

沖縄県発達障害者支援センター(がじゅまーる)、沖縄県総合教育センター等

・ハローワーク
・中部地区障害者就業・生活支援センター

・就労移行支援事業所
・就労継続支援事業所(A型・B型)など

庁内連携体制の構築

幼稚園

・特別支援教育
・幼稚園巡回訪問

適応指導教室(心因性)

ことばの相談室

保育所(園)

・発達支援保育
・保育所等巡回訪問

児童健全育成事業(発達支援等)

沖縄市障がい者就労相談

つくし園

・児童発達支援(親子通園、週3回)
・言語指導、作業療法等

小学校

・通常学級
・特別支援学級
・通級指導教室
・特別支援教育コーディネーター等の配置

中学校

・通常学級
・特別支援学級
・通級指導教室(予定)
・特別支援教育コーディネーター等の配置

・一般就労に関する相談(障がい者雇用)
⇒ 障がい者就労支援業務
・福祉的就労に関する相談(就労移行支援事業、就労継続支援事業A型・B型)
⇒ 障がい福祉課

きらきら(療育支援(親子通園、週1回))

親子教室(健診事後教室、月1回)

乳児一般健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診

少年相談テレホン

若者相談窓口

障がい者等相談支援窓口(障がい福祉課、委託相談支援事業所、沖縄市障がい者基幹相談支援センター)

にじいろ発達相談、継続相談窓口の設置(予定)

各小・中学校、沖縄市教育委員会(指導課等)

継続支援に向けた相談支援体制の構築、適切な情報の引継ぎ等

保育所(園)

幼稚園

小学校

中学校

高等学校等

乳幼児期

学童期

青年期

0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳 15歳 16歳 17歳 18歳

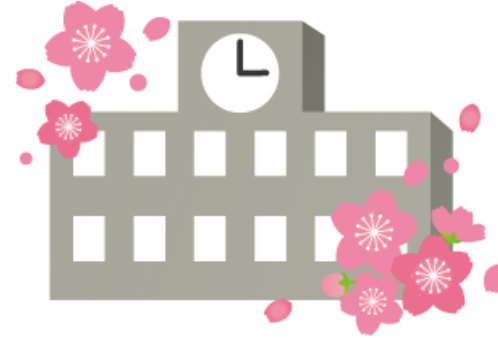
相談支援

発達支援

地域支援

就労支援

令和4年度 モデル事業



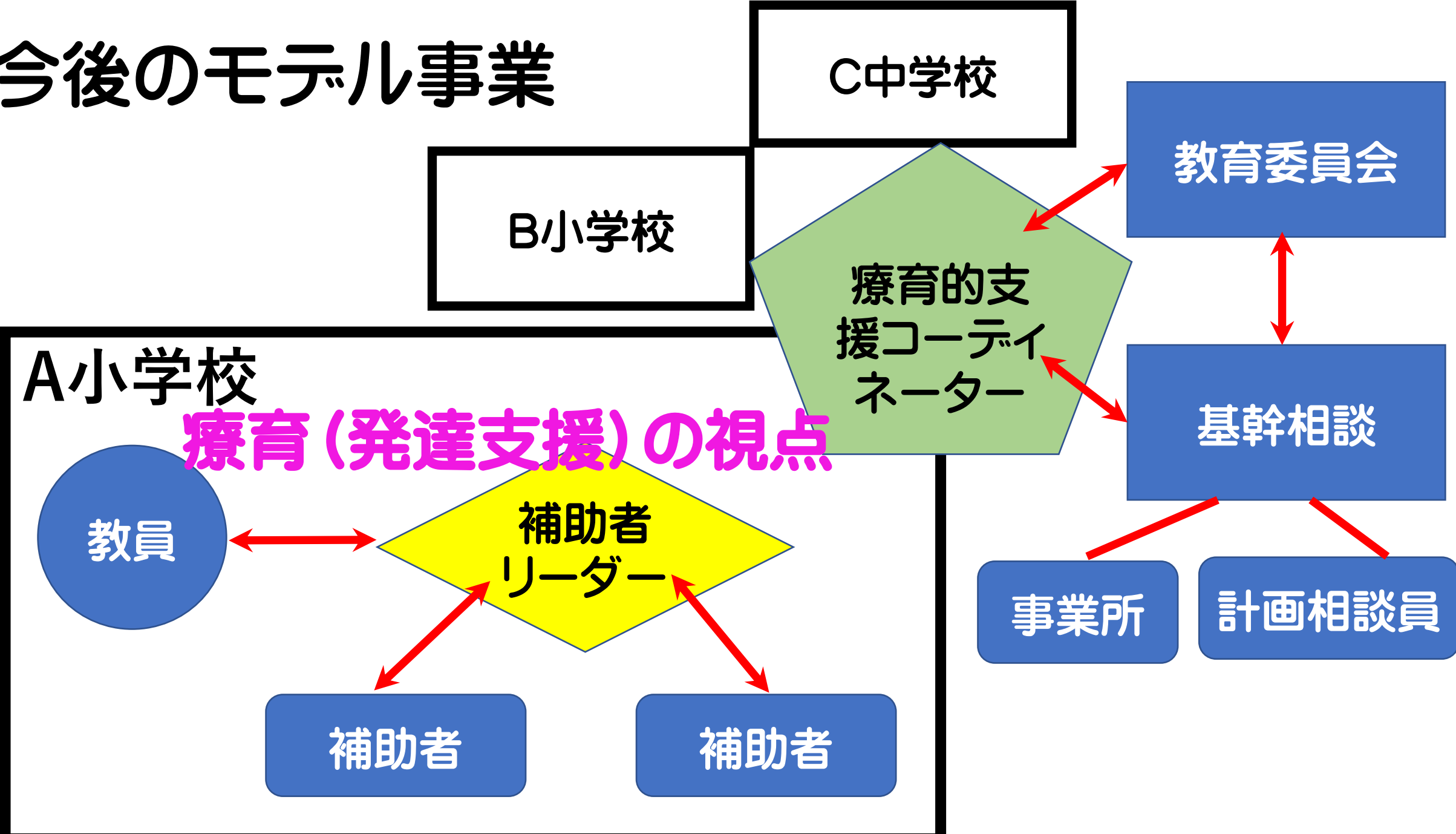
- ・市内小学校2校を対象
- ・療育の視点をもった放課後等デイサービス6カ所から職員を学校現場へ(ボランティア)
- ・学校から事業所への研修
- ・事業所から学校への研修
- ・教員による事業所見学



<成果>

- ・療育の視点から、担任に助言を与え児童理解が進むケースがあった。
- ・児童の飛び出しが減ってきている。
- ・児童が精神的に落ち着く場面が多くなり、児童の暴力行為があまり見られなくなった。
- ・飛び出しがあった場合、安全管理をすることができた。
- ・月1回の定例ミーティング(参加:管理職、特別支援教育コーディネーター、担任、基幹、市教委)を行うことで全体での課題共有、改善策の共有が図られた。

今後のモデル事業



学校支援

療育

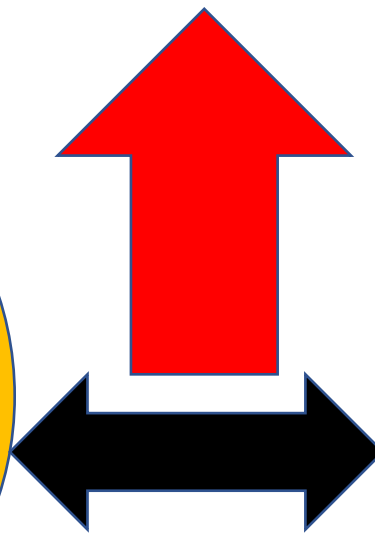
(発達支援)

の視点を学校
現場に！

**トライアングル
プロジェクト**

**沖縄市障
がい者基
幹相談支
援センター**

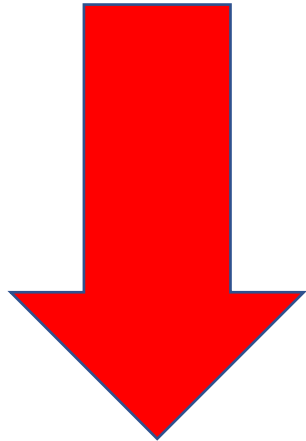
**沖縄市
教育委
員会**



教育

パートナーシップ

福祉



フレンドシップ